

2019

同友しずおか 2

VOL.483

私の逸品

しあわせの花が咲く(株)

商品開発を通して
子育てママさんを応援





中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。



同友会3つの目的

1

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。



2

よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。



3

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営をより安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

平成30年度 重点課題

- I. 経営指針成文化の環境整備を進め、労使見解に基づく人を生かす経営の実践企業を増やします
- II. 中小企業振興基本条例運動を推進し、県・市町の行政・金融・関係機関との連携を強化し地域づくりをめざします
- III. 2020年ビジョン3年目にあたり、早期に1200名会員を達成し、支部のさらなる活性をはかります

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1078 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
たなか としおみ 田中 俊臣	(株)平成建設 建設業(土地活用(賃貸マンション経営・医療開業支援・商業施設等)、住宅事業、リフォーム事業、不動産事業)	沼津	石澤 浩一
やまもと あきひろ 山本 明宏	(有)フォーディー 廃棄物処理業(汚泥、残さ、動物の糞尿等の廃棄物から肥料を製造)	富士宮	宇佐美健介
の が もとよしたか 野ヶ本好剛	(株)明建 建設業(土木建築の施工・管理、重量物及び精密機器の運搬・据付、仮設工事)	榛原	鈴木 徹
あ だち まさひと 安立 将仁	将興業 熱絶縁工事(保温、保冷、防音、断熱、板金)	浜松	須山由佳子
いちかわ まさゆき 市川 真之	(株)市川保険サービス 保険代理店(損害保険販売、生命保険販売)	浜松	宇佐美健介
い どう まさひろ 伊藤 正浩	(有)浜松ブロード・マインドオフィス 金融業、損害保険・生命保険代理店(損害保険(三井住友海上、損保ジャパン、日本興亜)、生命保険の代理店)	浜松	宇佐美健介

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



商品開発を通して 子育てママさんを応援

しあわせの花が咲く(株) (静岡支部)

代表取締役 岸 佑里子氏



岸 佑里子氏

ブラックな会社員時代

静岡市内で生花の販売をしている岸佑里子氏（しあわせの花が咲く(株)）を訪ねました。比較的交通量の多い幹線道路沿いに岸氏の店舗があります。誕生日やプロポーズ、墓参り、店舗の開店祝い等の生花販売を行っています。

岸氏が京都の大学を卒業したのは、ちょうど就職氷河期と言われた時代でした。中々良い仕事が見つからない中、ようやく決まったのが関西のシルクスクリン会社の営業職。道頓堀の戎橋に立ち、通行人相手にシルクスクリンで製作された絵画を売るのが仕事です。かなり難しい営業であることは想像に難くありません。こんな仕事があ

きるなら社員として働かなくても自分でできると、起業への思いを強くしていきます。父が土木の会社をしていたのも、岸氏の独立志向に影響していたようです。

静岡で独立・開業へ

シルクスクリンの会社を退職した後、静岡に戻り、好きだった花を仕事とするために、フラワーアレンジメント教室に通いながら、生花店や造園の仕事をしていました。そして2003年に葵区古庄で生花店を開業。2011年には、子育てをしながら仕事をするために、現在地に住宅付店舗を建てました。交通量の多い現在地に移転したことで、法人の顧客も増え



幹線道路沿いの店舗

て売上も古庄の時代の倍近くとなりました。

生花で作ったおむつケーキ

そんな岸氏の逸品は、お花のおむつケーキ。出産祝いに何を贈って良いか悩む方が多いというところが、商品開発のきっかけになりました。おむつケーキという点、たくさんのおむつで作った台にレースやリボン、ぬいぐるみを装飾して作られるのが一般的ですが、岸氏は生花で装飾することに挑戦しました。表紙の写真にもある2段の商品は特許庁の意匠登録も受けてあり、そこに並々ならぬ商品への情熱を感じます。おむつは消耗品のため、贈るとかならず喜ばれます。出産・育児で大変なママさんを癒してあげたいという思いが感じられます。



逸品の「おむつケーキ」がしずおか女子きらっ☆ブランドに認定

また、この商品は水が苦手なおむつと水が必要な生花を組み合わせるアイデアが評価され、2018年に静岡市の「しずお

か女子きらっ☆ブランド」に認定されました。まだまだ、出産祝いを贈るとい文化は広がっていません。岸氏は「生花のおむつケーキのような商品をきっかけとして、出産祝いを贈る文化が広まって欲しい。また子どもが産まれることが後ろ向きにとらえられがちな昨今、もっとみんなで出産を祝い、サポートし、子どもを産むことに前向きになれるような社会になって欲しい」と話してくれました。

取材・記事 藤本浩氏
（プリントバリュー(株)・静岡支部）

しあわせの花が咲く(株)

〒420-0816 静岡市葵区沓谷1350-1

TEL：054-655-1887

URL：https://shizuoka-hanaya.com

創業 2003年

入会年月 2017年10月

事業内容 生花店、手作り指輪サポート業、
ガン予防メディカルクラブ「まもーる」販売



渡辺 克洋氏

「同友会に入っていなかったら、きつとワンマン経営者のままだった」
 ～ピンチをチャンスに変えてくぐり抜け続ける社長の成長～

(有)洋和鉄工所
 代表取締役 渡辺 克洋氏 (富士宮支部)

いきなりのピンチ!?!
 そしてさらに大ピンチ!?!

1963年の創業で、現在では大型機械加工機を約15機という国内最多数体制を整える(有)洋和鉄工所。この強みを活かし、品質・スピード・コスト・多品種のニーズに応えています。代表取締役の渡辺克洋氏は、大規模な設備の開発に従事し経験を積んだ後、創業者である父の後継者候補として1998年に入社。社長になるまでの10年間は年間休日5日、残業時間は毎月200時間オーバーのペースでガムシヤラに働きました。2008年に代表に就任しましたが、リーマンショック、父の入院と次々に経営危機が訪れます。仕事の延期やキャンセルが相次ぐ中、経営者としての経験不足や心の余裕のなさから「なぜこんなことも出来ないんだ!?!」と社員とぶつかることも日常茶飯事でした。

ピンチの中での同友会入会

この年に、運命的な出会いが訪れました。交流のあった経営者から同友会に誘われ入会。メンバーの助言や愛のムチを糧に仕事や社員との向き合い方を変えました。3工場分散のため不足しがちなコ



ミニケースションを、昼食補助システムを導入して可能な限り集まれる場を創出。社員への声掛けや彼らの家族への配慮も欠かしません。業務についても社員の希望を取り入れ分担調整するようにし、モチベーションアップに繋がっています。

チャンス到来。高い技術を。

リーマンショックの影響で厳しい中、渡辺氏が注力したのは免震・制震などの災害対策技術でした。仕事が少ない時期を逆に活かして技術開発に努めたことが功を奏し、チャンスが到来します。スカイツリーの建設に求められる厳しい納期と技術要望に困っていた取引先から相談を受け、見事クリア。2011年の震災の影響もあり、50社程だった取引先が現在では150社程までになりました。また、自社の強みを生かし、建設・建築系部品をはじめ、大型重機や、船の重要な駆動部に使われる部品、精密機器の検査設備の製作など多種多様な業界の案件を受

けています。

業務の見直しと人材の課題

お客様の要望に応えるため夜間もプログラムで機械を動かしていますが、切り屑清掃や動作チェックは深夜でも大半を渡辺氏が手がけています。「社長の働き方改革が一番疎か。家族もより大事にしなければ」と自身の改革にも取り組み中です。人材の確保と教育にも苦労しています。しかし渡辺氏の目には、社長就任時のような悲壮感はありません。悩みも多いいけれど、社員や仲間を大切にし、お客様が喜ぶ品質を提供していけばなんとかが繋がっていくのだという自信を、この10年で得たのでしよう。「魅力あふれる未来のために」とスローガンをかけ、(有)洋和鉄工所は前進しています。

取材・記事 田邊 元裕氏

(有)カボスメディアワークス・富士宮支部

(有)洋和鉄工所

〒418-0021 富士宮市杉田523
 TEL : 0544-27-8732
 URL : <http://yowa.biz/>

設立 1965年
 社員数 25名 (パート含む)
 入会年月 2009年10月
 事業内容 自動車の生産ラインのベース製作からプラント関係の大型機械加工

激動の経営環境を見つめ
会社の未来を語り明かす



今年で3回目となる県青年部主催「朝まで討論会」が、1月26日(土)〜27日(日)の二日間にかけてつま恋(掛川市)にて開催されました。6支部から集まった14名の会員が「外部環境の変化と自社の未来」をテーマに、目覚ましい技術の進化が未来の働き方や自社事業とどう関わるのかを語りました。

今野英明氏(光誠工業(株)・榛原支部)による報告では「現在10歳前後の子どもの65%が就く仕事は、現代まだ存在していない職業になる」という衝撃的な予測が出ていることを知りました。技術の進化が目まぐるしい速さ

だということを改めて感じさせます。果たして、私たちの感覚はその速さに追いつけているのか、今見ている10年ビジョンは本当に通用するのか。1回目の討論で参加者の各々が



これらの疑問と対峙したまま、「事業承継」をテーマとした2回目の討論に入りました。それでもなお自社の持つ強さは何か、または成長させるべきポイントはどこにあるのかを、事業承継の観点から意見を交わしました。また、三輪雅則氏(株マルイチ・榛原支部)が事業承継の際に直面した困難とそれを乗り越えた想い、情熱を報告したことを受け、望ましい事業承継とは何かを語らいつながり、自社の強みを各々が見つめ直しました。討論は深夜にまで及び、参加者全員で自由に討論を行いました。お互いの繋がりを深め、その中で新たな価値を創造し、発信し続けることこそが自社の未来を創るきっかけになるのではないかと、参加者全員が気付きを得た会となりました。

渡邊 且真氏(株協和・静岡支部)

第16期
同友会大学
第5講座

人口減少下における「持続可能な観光地」
実現のための「観光地経営」

講師 静岡大学 准教授 太田隆之氏

1月12日(土)

今回は、私たちの住んでいる伊豆地域の観光地経営を発展させることで持続可能な観光地になりうるのがテーマでした。

今年で平成という時代も終わりを迎えます。振り返ってみると昭和の時代は、日本が終戦を経験し、そこからは世界にも類を見ない高度経済成長を遂げ、目覚ましい発展をしてきました。平成に入ると日本はもとより世界中で活発な経済活動が展開された反面、政治不安や不満が巻き起こり、時代は混迷の度を深めていった時代であると感じます。日本国内においては、平成元年の伊豆沖群発地震からはじまり、阪神淡路大震災、集中豪雨、東日本大震災など、日本中が予期できない災害に見舞われた30年となりました。

そんな時代の中で安心安全な国を



太田 隆之氏

めざす日本は、2020年のオリンピック・パラリンピックの招致に成功。観光立国としての道を歩み始めました。それは日本の観光産業に関わるあらゆる分野の産業振興に多くの影響を与え、静岡県にあっては県東部、特に県内の観光の三分の一を担う伊豆半島においては大きな経済効果が期待できます。

最近、熱海地域が観光振興で成功している事例として取り上げられています。観光振興を進める上で大切なことは、地域の企業が本当にその地域を良くしたいと思えば、地域をよく観察し、地元のオンリーワンを見つけてそれを充分に磨くこと。そして海外も含めどのよう外部に向けて情報発信できるか、また、誰が推し進めるかが重要であると、この講義を通じて感じました。太田先生が講義で仰っていたように「日本版DMO」は、できるなら自治体・行政が主導ではなく、あくまで民間主導でおこなっていくことが必要と感じました。

市川 正樹氏(株市川製茶・伊東支部)

県知事表敬訪問

2019年1月8日(火)に井上斉氏、

河合浩史両代表理事、簗威頼副代表理事が静岡県庁にて、川勝平太静岡県知事を表敬訪問しました。井上代表理事からは同友会の目指す企業づくり・地域づくりに触れながら、2016年12月に制定された静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例を、より実効性のあるものにしてほしいとお伝えしました。その後、副知事の難波喬司氏、土屋優行氏、吉林章仁氏にそれぞれ新年のご挨拶を行いました。



静岡大学連携講座

第11講



穂坂 勝彦氏

『地域企業』とつながる経営戦略

講師：穂坂勝彦氏 富士宮清掃(有) 12月12日(水)

富士宮市で一般廃棄物収集運搬業を営む穂坂氏が、自社で取り組む「見守りネットワーク」を紹介。人を生かす経営を実践することで、社員が自社に誇りを持ち、地域から必要とされる存在になることが自社の使命だと話しました。最後に、これまでの経験を踏まえ「ビジョンを持つこと、時代認識と未来を読み取る力、本質を見極める力が大切」と学生に伝えました。

第12講



松下 恵美子氏

『世界は広い!! リアルをいっぱい体感しよう。』

講師：松下恵美子氏 三協紙業(株) 12月19日(水)

「色々な世界を実際に自分の目で見て、自分の頭で考えたい」そんな思いから海外旅行添乗員になり多くの経験を積んだ松下氏は、郷土愛から静岡で紙の卸売を行う家業に入ることを決意。紙の需要が減る中、紙に付加価値をつけ小売店舗を開く夢を実現しました。自身の経験から「デジタル社会だからこそ、視野を広げ色々なことに興味をもってリアルを体感してほしい」と学生に伝えました。

第13講



宮園 義美氏

『未来農業！今、私が目指すもの』〜農とコト、ハコ先へ〜』

講師：宮園義美氏 (有)アグリ開発 1月16日(水)

前職での繋がりに地元鹿兒島を離れて静岡で起業し、水を効率よく植物に行き渡らせる点滴チューブの販売を中心に事業展開してきた宮園氏。今後は環境問題・人手不足問題も視野に入れ、農作業サポート事業やエネルギーを効率的に活用する「エクセルギー」を農業にも取り入れるなど、総合的に未来の農業をサポートしたいと語りました。

第14講



大川 隆久氏

『経験に無駄はない！思えば叶う、夢の力』

講師：大川隆久氏 フェタ工業(有) 1月23日(水)

学生時代の研究がきっかけでテレビ業界への就職を夢見るも家業に入ることにになり、最初は仕事の面白さが感じられなかった大川氏ですが、中小企業の可能性に気づき、今では新規事業にもチャレンジしています。同友会でさまざまな役を受けたことで自身が成長したと語り、最後に学生に「漠然でもいいので夢を持ち続けることが大切」と伝えました。

第15講



杉村 征郎氏

『第五福竜丸 ビキニ水爆被爆事件』〜国連「核兵器禁止条約」採択の出発点〜』

講師：杉村征郎氏 杉村精工(株) 1月30日(水)

若い頃に戦争やビキニ事件を目の当たりにし、仲間と「原水爆反対署名」の活動を行った杉村氏。戦争や核の恐ろしさ、根絶への強い想いを伝えました。また、欧州圏の原発ゼロ・自然エネルギーを中心とした地産池消のエネルギー政策を紹介。最後に学生に「学ぶことは自分自身の座標軸を定めること。本質的、多面的、歴史的な観点から物事を捉えられる人になってください」と伝えました。

静岡市経済局との意見交換会を 7年ぶりに開催！

1月30日(水) 同友会事務局 参加22名

静岡市から池田経済局長ら7名、同友会静岡支部から井上代表理事、大戸静岡支部長ら15名が出席し、静岡市経済局との意見交換会を7年ぶりに開催しました。池田経済局長、大戸支部長の挨拶に続き、松下政策委員長から、2018年12月調査の会内景況動向の結果を報告。売上が好調推移の中で経常利益の伸びが欠けること、6ヵ月後・1年後は慎重な見通しであること、慢性的な労働力不足の現況を伝えました。続いて、齋藤寧氏(株齋藤組)、伏見修氏(株富士山ドリムビレッジ)、岸佑里子氏(しあわせの花が咲く株)の三名から、自社経営の現状、業界の課題、同友会活動の紹介を行いました。



池田 文信局長

静岡市からは中小企業支援施策や表彰制度、また2月市議会上程予定の静岡市中小企業・小規模企業振興条例(仮称)についての説明を頂きました。その後の意見交換では、中小企業の事業承継問題や制定後の振興条例の具体的な運用策について意見を交わしました。



榛原例会

『静岡県経済の現状と課題』

テレビでは聞けない本音のはなし

1月31日(木) きてご榛原 参加45名

財務省東海財務局静岡財務事務所長の山崎正晴所長を講師にむかえ、榛原支部1月例会が開催されました。他支部や他団体、金融機関からの参加を含め45名の参加者が集まり、山崎所長より「日本の経済状況」「静岡の経済状況」「生産性向上に向けた課題」の三本柱でご講演いただきました。「日本の経済状況」については、日本のGDP成長率はアメリカや中国に比べると小さいものの過去最大規模のGDPを実現し、デフレを脱却し景気も好調の中にあるとのことでした。しかし生産年齢人口が減少していく中で人手不足が加速しており生産性の向上が急務であるとお話で



山崎 正晴所長

した。「県内経済の状況」については、財務事務所で行っている景況調査の結果をもとに、県内経済は緩やかに回復しており、個人消費ベースで見ると猛暑の影響でエアコンがよく売れたなど天候に左右されていることが分かりました。最後に「生産性向上に向けた課題」については、中小企業のIoT等の先端技術の活用状況を見ると中小企業の活用率が8%とまだまだ低い中、定型作業をPCに代行させるRPAの導入例や失敗しないためのポイントについて説明があり、AI、IoT導入支援の機能をぜひ活用してほしいというお話で締めくくりました。

〈参加者感想〉

私は山崎所長と鈴木雅夫副代表理事の話聞き、リーマシニック当時、決意を込めた先代の言葉を思い出しまし



た。「二人も辞めさせない」と生産性よりも雇用を守った母。あれから10年、慢性的な人手不足が続く現在、社員の働きやすい環境をつくるため「生産性向上」の課題に取り組み決意をした例会でした。できることから、まずはRPAソフトウェアへの切り替えを試してみようと思います。

今野英明氏(光誠工業株・榛原支部)

2月・3月

DOYU CALENDAR

2月16日(土)～3月15日(金)

2月16日(土)	浜松45周年記念祝賀会 (16:00 オークラクトシティ浜松)
18日(月)	県政策委員会 (19:00 同友会事務局)
19日(火)	沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ)
20日(水)	志太例会 (19:00 島田信用金庫七丁目支店) 榛原例会 (19:00 きてご榛原)
21日(木)～ 22日(金)	中小企業問題全国研究集会in長崎 (13:00 ホテルニュー長崎他)
21日(木)	富士例会 (19:00 ロゼシアター)
22日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 (19:00 同友会事務局)
23日(土)	静岡共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)
25日(月)	三島例会 (19:00 三島商工会議所)
26日(火)	浜松イントロセミナー (19:00 ザザシティ中央館5F) 県経営労働委員会 (19:00 同友会事務局)
27日(水)	県理事会 (17:00 同友会事務局) 県例会企画委員会 (19:00 同友会事務局) 第33回中同協役員研修会in静岡実行委員会(第2回) (19:15 同友会事務局)

28日(木)	共同求人委員会 (19:00 同友会事務局)
3月8日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川)
9日(土)	同友会大学⑦ (14:00 同友会事務局)
11日(月)	正副代表理事会 (17:00 同友会事務局)
12日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート)
13日(水)	連合しずおかとの意見交換会 (10:00 同友会事務局) 御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
14日(木)	県共育委員会 (19:00 同友会事務局) 富士例会 (19:00 ロゼシアター)
15日(金)	沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ)



《あなたのスケジュールノートに必要な事項をご記入ください》

「その答え、同友会にありました。」

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

デザイン：遠藤 在氏 (Sign・榛原支部)

仲間づくりポスターを作成

県下11信用金庫に掲示の協力を要請

今年度、静岡同友会では重点課題のひとつに、行政や金融機関等との連携強化を掲げています。その取り組みとして、今回、新会員募集の仲間づくりポスターを作成し、県内の信用金庫での掲示をめざし、(一社)静岡県信用金庫協会にて、各支店でのポスター掲示の協力を要請しました。

昨年10月、定例となった東海財務局静岡財務事務所との意見交換会(2016年から開催)において、金融行政方針や財務事務所の取り組み、同友会会員の経営実践報告や意見交換を行う中で、九州・沖縄ブロック仲間づくりポスターを紹介しました。静岡同友会でも仲間づくりポスターを作ろうと12～1月にかけて県理事会と県広報情報化委員会が中心となり作成をしました。そして1月下旬、静岡財務事務所からの協力も頂き、県内11信用金庫で組織する静岡県信用金庫協会にて、ポスター掲示の協力要請をさせて頂くことができました。

静岡県内に本社等が所在する会社企業数は5万4233企業(平成26年経済センサス基礎調査)。静岡同友会の会員は1月時点で1078名、対企業組織率で見ると1.99%と全国平均2.67%からは低い位置にいます。様々な経営課題の解決に取り組む中小企業経営者にむけて、「その答え、同友会にありました。」を、県内企業、金融機関、関係機関へ今後も広く発信していきたいと思います。

井上 斉氏 (代表理事・ワシロック工業(株))

河合 浩史氏 (代表理事・板橋工機(株))



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！

発行所：静岡県中小企業家同友会 doyu@szdoyu.gr.jp / 編集者：県広報情報化委員会

〒420-0857 静岡市葵区御幸町8 静岡三菱ビル6階 TEL:054-253-6130(代表) FAX:054-255-7620 http://www.szdoyu.gr.jp